

## 第 76 回明石市環境審議会 議事概要

開催日：2022 年 12 月 22 日（木曜日）14 時～16 時 15 分

場 所：明石市役所議会棟 2 階大会議室

### 委嘱式

○泉市長より新委員へ委嘱状交付

### 議事1 正副会長選出

○小幡委員を会長、花田委員を副会長に選出

### 議事2 部会について

○事務局より説明（資料 2）

- ☛ 自然環境部会および地球温暖化対策推進部会の設置について了承
- ☛ 各部会委員について会長より指名

### 議事3 明石市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)の検討状況

○事務局より説明（資料 3）

#### <主な質疑>

#### 【委員 A】

○将来ビジョンに関するイラストをこれから作成するとのことであるが、ぜひ明石らしいもの（海や農水産業などを含む）を期待している。

○48%削減の内訳について、具体的に削減量を大きく増やした部門や項目について教えてほしい。

（事務局）産業部門や業務部門の RE100（再生可能エネルギー100%電気）の調達の取組、家庭・業務部門の新築 ZEH・ZEB 化、自家消費型の太陽光発電導入など削減を上積み。

○再生可能エネルギーについては、固定価格買取制度による買取期間が終了したいわゆる卒 FIT の電気を市が買い取ることにより、市の温室効果ガス削減をさらに見込むことも可能になるので、検討いただけたらと思う。

○削減の内訳として、エコドライブなどの項目はあるが、ハード面の対策が多い。市民や事業者のソフト面の対策もあると思うので、削減の内訳として明示してはどうか。

○水素ステーションの整備について記載があるが、コスト的な大きな課題があるので、2030年までの計画と考えると実現が少し難しいのではと思う。

(事務局)兵庫県では、今後数年間で水素ステーションを増やしていく計画を打ち出しており、具体的な場所などは聞いていないが、県とも連携して進めたいと思う。

○次世代自動車に関する記述がいろいろなところに出てくるが、特に電気自動車は、使う電気をどうやってつくるかという観点も大事なので、留意してもらいたい。

○推進体制については、例えば、特定のテーマについて、いろんな立場の方が集まって、専門家の話を聞きながら、自分のところはこういうことができるとか、こういうことで困っているというような議論ができるプラットフォームのようなものをつくってほしい。

#### 【委員 B】

○計画の対象が一般市民であるならば、専門用語が多いので、なじみのない方にもわかりやすいように、用語の説明をあった方がよい。

(会長)用語集をつけるか、脚注で語句の説明を補足するなど対応したい。

○何のために二酸化炭素を削減するのかという点で、次世代につなぐ(エネルギー)という考え方が文言として出てくるとうれしい。

(会長)③将来ビジョンの項目で考え方を入れたいと思う。

#### 【委員 C】

○削減の内訳をみると、家庭部門の削減量が多い。削減の対策としてハード面はいろいろ記載されている一方で、市民に身近に響くような表現がエコドライブやごみの削減くらいしかない。市民が日々暮らしの中で取り組むことも削減には不可欠と思うので、市民に身近に響くような表現・文言を入れてもらえたらと思う。

#### 【委員 A】

○行動変容してもらうために、どういう施策、働きかけをしていくのかという点を計画で示すと実効性が出てくる。市民や事業者がこの計画を見て、これだけ取り組んだら、これだけCO<sub>2</sub>が減るといえることがわかるような記載をもう少し増やしていただくとよい。

#### 【委員 D】

○市民の方に伝わりやすくするために、市民にもできる温暖化対策という項目を設けて、具体的な例を掲載することがよいのではないかと。

#### 【委員 E】

○ポテンシャルを施策にどう反映していくのかがわかりにくい。国や県レベルでやることと、個人レベルでやれることを整理してほしい。例えば、明石では空き地が多くなってきているとか、防災ポケット公園をうまく結びあわせて緑地を増やすとか。明石の里山・河川・海岸性をコリドーという形で結んで、ウォーキング路にすれば、緑地の整備にもつながるし、市民が具体的にイメージしやすいようにしてもらえと思う。上位計画との整合性も踏まえることで、具体的でより市民にわかりやすくなる。

#### 【委員 F】

○施策のイメージをつかみやすくするために、企業や他の自治体の具体例を紹介するとよいのではないかと。忙しい市民でもぱっと見てイメージをつかんだり、こういうことに協力したらいいんだと自分ごととして理解しやすくなると思う。

#### 【委員 G】

○戦略4の資源循環に関する施策について、生ごみの水切り推進・堆肥化、啓発という記載になっているが、取組が個人任せのように感じる。自治体として資源循環させる仕組みづくりを検討できないか。例えば、ごみの分別は、福岡県大木町などでは生ごみの堆肥化を自治体が行っているところもある。自治体が積極的に関わっていただきたい。

### 議事4 明石市環境レポート

○事務局より説明（資料4）

#### <主な質疑>

#### 【会長】

○今までの環境レポートと比べて特に大きく変化があった項目などあるか。

(事務局)脱炭素社会実現の取組として、昨年度、太陽光・蓄電池の補助金、再エネ利用可能量調査、マイボトルの啓発活動などの新しい事業を行った。また、あかし動物センターが実施した動物愛護週間のポスターコンクールなども新しい取組である。

#### 【委員 H】

○表紙の写真について、画素が粗いと思うので、改善の余地があればお願いします。

○資源循環のページの円グラフは、カラーリングした方がよい。

#### 【委員 I】

○今年、明石市で生物の絶滅危惧種の冊子を作成したと思うが、市民団体などから大変反響がある。良い冊子なので、レポートの資料一覧のページところに載せてはどうか。

(事務局)資料一覧のページには、基本的に行政計画をのせているが、冊子が好評であるということなので、ご指摘のとおり掲載する方向で検討させていただきたい。

#### 【委員 E】

- トピックについて、世界のエネルギー問題というとても大きな話が最初に来て、最後に本市に関する記載が数行だけある。世界のエネルギー問題という形で大げさにかまえなくても、もう少し簡単に書いてもよいし、むしろ温室効果ガスの削減目標を大きく変えようとしていることなど、明石の環境にとって重要なことをトピックとして書くべきと思う。(会長)2022年の明石のトピックも入れるということにします。

#### 【委員 F】

- トピックはよいと思った。コロナとかウクライナの戦争で打撃をうけている。そこで、改めて皆がエネルギーのことを考えるきっかけになったと思う。世界の動きが自分の生活ともリンクするという意味ではわかりやすいトピックであり、残してもよいと思う。

#### 【委員 D】

- 自然共生社会の出前講座の記述について、何回実施し、何人参加したなど具体的なことを記述した方がよい。
- 自然共生社会の課題と今後の方向性の記述について、若者が活動に参加できるように具体的にどのような施策を考えているのかなどがあれば、提示いただけたらと思う。

### 議事5 新ごみ処理施設整備に向けた取組状況について

- 事務局より説明（資料5）

#### <主な質疑>

#### 【会長】

- 多機能型施設について、施設の図面などは出来上がっているのか。  
(事務局)施設の形状などはまだ決まっていない。今後、基本設計の段階で検討していく。

#### 【委員 A】

- 新ごみ処理施設の整備にあわせて、市民の方にごみの処理の仕方や、ごみを減らしていないといけない状況などについて考えていただくきっかけにできればよいと思う。

#### 【委員 B】

- ごみ発電の使い道についても他の施設へ供給するなど、方向性を出していただけたらと思う。  
(事務局)ごみ発電の用途は、まず施設で使う。余った電気は、基本的にはFITの適用を念頭に置いているが、バイオマス発電のFIT適用にあたっては、地産地消が要件となる場合があり、そうした点も踏まえて、基本設計の段階で考えていく。

**【委員 A】**

○余熱はどうか。

(事務局)余熱は、発電に最大限利用することを考えている。熱を発電に利用すると、ほとんど熱は残らず、使い道がないとメーカーから聞いている。

(委員 A)電熱併給により、地域への熱供給も行うことで二酸化炭素の排出を大きく減らせる可能性も考えられるが、実際にはインフラの整備が難しいことがネックとなる。余熱を電気に利用という方針はよいと思うが、熱は熱として使うことが一番効率良いので、今後、もし技術的に良い方法が出てきたら、取り入れるとさらに効率がよくなるのではと思う。

以 上